

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和4 年 11 月 7 日

設置・運営主体	社会福祉法人すこやか福祉会		
設置主体			
経営主体			
事業所名 (施設名)	八潮かえで保育園	種別	保育所
所在地	〒 340-0822 埼玉県八潮市大瀬2-1-8		
電 話	048-994-3007		
FAX	048-994-3008		
Email	yashio-kaede-hoikuen@sukoyaka-fu.or.jp		
URL	http://kaede.sukoyaka-fu.or.jp/		
施設長氏名	石井 良子		
調査対応担当者	(所属、職名：)		
利用定員	85 名	開設年	平成 25 年 4 月 1 日
理念・基本方針	<p>子どもの発達保障と保護者支援、地域に根ざした保育園づくりにつとめます。</p> <p>○子どもの最善の利益を守り、成長発達の権利を保障する保育園 子どもを、どんなに小さくとも意思を持ったひとりのユニークな存在として認め、ひとりひとりを温かく受け入れ、見守り、励まし、援助します。</p> <p>○保護者と一緒に”共に育て合い、共に育ち合う”を大切にする保育園 保護者と職員との信頼関係を基礎とし、”共に育て合い、共に育ち合う”を合言葉に力を合わせていきます。</p> <p>○働く保護者と職員の権利と生活を保障し、子育てを援助する保育園 子どもの育つ環境、大人の働く職場状況を学び、理解し、改善するため、協力しながら発信をおこないます。</p> <p>○子育てのヒントを伝え、地域の子育てを応援する、地域に根ざした保育園 地域の方々に、子育ての情報を提供したり、気軽に遊びに来られるような子育て支援の取り組みをすすめます。</p>		
開所時間 (通所施設のみ)	7:30~19:30 (18:30~19:30 延長保育)		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	9	9	1	9	3
1歳児	15	15	1	15	4
2歳児	15	15	1	15	3
3歳児	15	15	1	15	異年齢グループ2 各グループ2名ずつ
4歳児	15	15	1	15	
5歳児	16	15	1	15	
計	85	84	6	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		15人	
うち	保育士	9人	保健師・看護師 1人
	栄養士・調理員	2人	その他（施設長・事務） 3人
非常勤職員数		16人（常勤換算 人）	
うち	保育士	12人（常勤換算	10人）
	保健師・看護師	1人（常勤換算	1人）
	栄養士・調理員	1人（常勤換算	0.9人）
	その他（派遣）	1人（常勤換算	0.8人）
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 3人	非常勤： 人
	退職	常勤： 1人	非常勤： 人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		35.07 歳（ 36.8 歳）	
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		8.5 年（ 10 年）	
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)		567.9 m ²
	児童1人あたり	6.68 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積		450 m ²
	児童1人あたり	5.29 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	25年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・玄関にあのねボックス設置
- ・行事ごとに保護者へアンケートをお願いしている。(運動会、かえでパズール等)
- ・クラス担任との面談で意見を聞く
- ・保育参加で給食試食し、アンケートをお願いしている。
- ・給食アンケート
- ・月1回の父母会役員会
- ・父母会で保護者アンケートを実施し、その結果を園に伝えてもらう。
- ・保育園のしおりに第三者委員の名前を記載、相談窓口は園長・事務長であることを記載。
- ・クラス保護者会年2回

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・0,1,2歳児は担当制保育している。担当制保育で特に0歳児はゆったりとした空間の中で、一人ひとりの発達を保障できるよう、環境を工夫し、入園仕立てのころはネンネの状況の子どもが、寝返りをするようになり、ずり這いから四つ這い、自分でお座り、つかまり立ちなど、それぞれの発達を促せるような遊びや玩具、遊具の工夫をしている。1歳児になると自分以外にも興味関心がわいてくるけれど、一人でじっくり遊ぶ空間を大切にしたり、言葉よりも手や口が先にでてしまいがちな所を保育士が気持ちを代弁したりなどを心がけている。2歳児になるとお友だちと一緒に遊ぶ姿が増えてきて、ままごとやお世話遊びが充実するように具材を工夫している
- ・3,4,5歳児は異年齢保育をしている。乳児の担当制保育で大人としっかり信頼関係を築く経験をした上で同年齢の繋がりが大きい子、小さい子との関わりの中で、日常生活やその他、行事や活動を通し自分の好きなことや遊びをじっくりしたり、友だちとの関りで興味関心の幅が広がることもある。
- ・日常生活から子どもたちが発信したことを保育士は逃さずキャッチし、深めたり広げられるように心がけている。
- ・毎日の遊びは、雨が降っていなければ、朝から園庭でドロンコや虫探しなどことん遊んでいる。5歳児は園庭の畑で野菜を育て調理保育したり、運動会では竹登りを行い、太鼓の取り組みも行っている。5歳児の卒園遠足は山登りなので、そこまで足腰鍛えようと、週1回は遠足の散歩を取り入れている。(コロナのため山登りはできていないが・・・)
- ・一時保育を実施している。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

2 回 (令和 元 年度)